



平成26年度 那賀町当初予算のお知らせ

一般会計当初予算（前年度比 7.99%増）

当初予算合計 **99億8,000万円**

歳入予算内訳

依存財源 79億6,035万4千円

国・県から交付される財源で、この比率が大きいほど、国や県に依存している。

79.8%

自主財源 20億1,964万6千円

町税や使用料など、町が自主的に収入できる財源のこと。

20.2%

	区 分	予算額	構成比
依存財源	地方交付税	49億円	49.1%
	県支出金	8億2,513万7千円	8.3%
	地方債	15億6,370万円	15.7%
	国庫支出金	4億7,893万5千円	4.8%
	地方譲与税	8,360万円	0.8%
	地方消費税交付金	7,913万5千円	0.8%
	自動車取得税交付金	1,712万4千円	0.2%
	利子割交付金	251万8千円	0.0%
	株式等譲渡所得割交付金	523万8千円	0.0%
	配当割交付金	296万7千円	0.0%
自主財源	地方特例交付金	100万円	0.0%
	交通安全対策特別交付金	100万円	0.0%
	繰入金	6億1,194万1千円	6.1%
	市町村税	9億3,661万6千円	9.4%
	使用料及び手数料	2億1,899万4千円	2.2%
	諸収入	7,577万1千円	0.8%
	分担金負担金	2,706万9千円	0.3%
	繰越金	6,116万5千円	0.6%
	財産収入	8,808万7千円	0.9%
	寄付金	3千円	0.0%

歳出予算内訳

◆目的別歳出予算

区 分	予 算 額	構成比
議 会 費	8,708万円	0.9%
総 務 費	20億3,914万9千円	20.4%
民 生 費	16億1,996万3千円	16.2%
衛 生 費	7億7,131万4千円	7.7%
労 働 費	995万円	0.1%
農 林 水 産 業 費	10億5,563万9千円	10.6%
商 工 費	1億2,173万8千円	1.2%
土 木 費	7億7,202万8千円	7.7%
消 防 費	8億9,392万5千円	9.0%
教 育 費	7億7,678万4千円	7.8%
災 害 復 旧 費	2,965万4千円	0.3%
公 債 費	17億7,277万6千円	17.8%
予 備 費	3,000万円	0.3%

◆性質別歳出予算

	区 分	予 算 額	構成比
1	公 債 費	17億7,277万6千円	17.8%
	人 件 費	19億5,968万1千円	19.6%
	扶 助 費	4億3,704万8千円	4.4%
2	普通建設事業費	27億3,363万8千円	27.4%
	災害復旧事業費	2,965万4千円	0.3%
3	物 件 費	13億5,855万円	13.6%
	繰 出 金	8億1,205万7千円	8.1%
	補 助 費 等	6億4,598万4千円	6.5%
	積 立 金	3,650万2千円	0.4%
	貸 付 金	4,494万円	0.4%
	予 備 費	3,000万円	0.3%
	維 持 補 修 費	1億1,917万円	1.2%

1	義務的経費	41億6,950万5千円	41.8%
2	投資的経費	27億6,329万2千円	27.7%
3	その他経費	30億4,720万3千円	30.5%

特別会計当初予算

当初予算合計 **45億3,130万3千円**

特 別 会 計 名	本年度予算	特 別 会 計 名	本年度予算
国民健康保険事業特別会計	11億4,792万2千円	集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	1億3,933万2千円
国民健康保険診療所事業特別会計	4億4,976万9千円	ケーブルテレビ事業特別会計	1億3,104万2千円
後期高齢者医療特別会計	1億7,350万7千円	財 産 区 事 業 特 別 会 計	44万6千円
介護保険事業特別会計	16億8,275万6千円	町立上那賀病院事業会計（公営企業会計）	6億3,366万円
簡易水道事業特別会計	1億4,207万6千円	工業用水道事業会計（公営企業会計）	3,079万3千円

平成26年度 那賀町当初予算の特色

平成17年3月、合併により那賀町が発足して10度目の予算編成となりました。

国では、一昨年末に発足した自民党安部政権のもと、景気回復の兆しも見られる中であって、本年4月からの消費税の増税がどのような影響をもたらすか論議的となっています。

政府は平成25年度の補正予算の執行などによりその影響を緩和する方策をとっています。私たちは地方財政に対する影響についても、注視している状況であり、町の行財政運営には予断を許さない状況が続いています。

そうした中、本町の平成26年度の一般会計当初予算総額は対前年度比で約8%増加の約99億8千万円となり、平成25年度からの繰越事業費約15億円と合わせて約115億円の支出規模となります。

これは、相生庁舎の新築工事、海部消防本部から独立して那賀町消防本部を設置するにあたっての消防本部の増築工事、消費税の増税による事業経費が

増加したことなどによるものです。

合併後、那賀町は今日まで行財政改革と国の有利な補助制度や交付金制度、起債などを活用し、効率的な財政運営を行いながら、那賀町に必要な事業を予算計上し執行してきましたが、今後は合併の特例措置も縮小される中、一般財源の額は増加することが予想されます。

そうした状況の中、住民生活の安定に主眼を置いて本年度予算を編成したものであり本予算の執行が、地域の雇用対策や景気対策に寄与することを強く望みます。

町では、たゆまぬ歩みで行財政改革を推進しつつ、「住む人、来る人に魅力いっぱいのもち」の実現を目指し、「那賀町まちづくり計画」の推進に努めてまいります。

平成26年度当初予算における「まちづくりの主要施策」に対応するための主な事業は、次のとおりです。

なお、複数の分野にまたがる事業については、主たる分野に記載しています。

「那賀町まちづくり計画」の推進に向けて（まちづくり主要施策対応事業一覧）

②合併浄化槽維持管理事業	1,320千円
合併処理浄化槽の法定検査の啓発向上を目指した取り組みを行います。	
③クリーンセンター施設整備に関する影響調査(新規)	16,002千円
クリーンセンター施設整備に向けて、生活環境影響調査を行います。	
④飲料水供給施設整備事業(新規)	31,605千円
木沢地区の加持久保地区において、老朽化した飲料水供給施設の改良を行い、地域住民の飲料水の確保に努めます。	
(4) 防災体制の充実	
①消防設備整備事業(新規)	42,053千円
延野地区に防火水槽1カ所設置するほか、木頭地区に可搬式ポンプ付消防車4台を整備します。また、各地区では、消防水利道や消防機材を整備するなど消防機能の強化を図ります。	
②自主防災組織整備事業	2,000千円
町内126地区に設置された地域防災組織の活動の活性化と新たな組織の育成を行うことにより、防災意識の向上を図ります。	
③木造住宅耐震改修事業及びリフォーム改修事業	8,050千円
南海・東南海地震に備えた木造住宅の耐震化を図り、地震に強いまちづくりを推進します。また、老朽化した危険廃屋の解体支援も開始します。	
④公共施設耐震診断・改修事業	121,457千円
電源立地地域対策交付金事業を活用して、昨年度に実施した上那賀東体育館の耐震補強評定や耐震改修の実施設計に基づき今年度は耐震補強工事を実施します。	
⑤災害被災者等支援対策事業	10,000千円
災害被災者等に対して、被災後迅速に住居、生活物資、食料等に対する経済的支援が行えるよう災害見舞金などの被災者への支援充実を図ります。	

1 自然環境に配慮したやさしいまちづくり	
(1) 自然環境の保全	
①自然環境保全事業	4,057千円
環境美化パトロール員の強化や町内一斉清掃などにより、環境美化啓発運動を推進します。	
2 だれもがゆとりの中で安心して生活できるまちづくり	
(1) 道路、交通体系の整備・充実	
①道路基盤整備事業	589,146千円
社会資本整備総合交付金事業や地方道路整備交付金事業などを活用して地域の状況に応じた道路の改良・整備を進めるとともに、既存の町道の適切な維持管理に努め、通行の安全を確保します。	
②代替バス等運行事業	63,965千円
唯一の公共交通機関であるバス路線の維持を図り、高齢者や通学者の利便性を確保します。	
③スクールバス運行事業	41,263千円
小中学校への遠距離通学による不便性を解消するため、スクールバスを運行します。	
④次世代自動車インフラ整備促進事業(新規)	5,497千円
今後、普及が見込まれる電気自動車の充電拠点を鶯敷の鶯の里に整備し、次世代自動車の普及と、設置場所周辺の観光振興に役立てます。	
(2) 地域の安全の確保	
①交通安全対策事業	3,562千円
ガードレールやカーブミラーなど交通安全施設の整備を図るとともに、交通安全指導員の配置、中学生への自転車通学用ヘルメットの配布、高齢者への交通安全教育の推進などにより町民の安全意識の高揚に努めます。	
②防犯対策事業	7,128千円
防犯灯の設置により、住民の安全・安心を確保するとともに、防犯意識の高揚に努めます。	
(3) 環境衛生の整備	
①合併処理浄化槽設置事業	7,568千円
合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水からの河川環境の保全に努めます。	

②高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	16,840千円
敬老会の開催や80歳以上の方への敬老祝金の支給などを行います。また各種の趣味講座等を開催し、高齢者の生きがいと健康づくりに努めます。	
③高齢者生活状況確認事業	2,420千円
緊急通報サービスや郵便局、新聞配達所などと提携し、一人暮らし高齢者の生活状況把握と支援を行います。	
④ 高齢者施設等の修繕〔新規〕	2,292千円
木沢デイサービスセンターの屋根修繕や鶯敷デイサービスエアコンの修繕をおこない、介護サービスの充実を図ります。	
(4) 障がい者福祉の充実	
①あすなる作業所運営支援事業〔一部新規〕	12,645千円
現在新築中の小規模作業所、あすなる作業所の開所のための備品購入支援やグループホームの支援を拡充するとともに、障がい者団体への支援を行い、障がいのある方の生きがいと社会参加を促進します。	
②障がい福祉計画策定事業	4,000千円
那賀町の障がい者福祉充実のため、今年度において障がい福祉計画を策定します。	
③障がい者虐待防止事業	1,000千円
障がい者の虐待の発生を防止するため、障がい者虐待防止センター等を通じた取り組みを行います。	
(5) 子育て支援の充実	
①こどもはぐくみ医療給付事業	24,410千円
小学校卒業までのこども、乳幼児を対象に医療費助成の現物給付を行い、子育てのしやすい環境の整備に努めます。	
②ブックスタート事業	60千円
読み聞かせによる心豊かな子育てを支援するため、0歳児に絵本を配付します	
③結婚・出産祝い金事業	3,400千円
結婚や出産を祝福し、若者の定住を促進します。	
④子育て支援センター運営事業	100千円
わじきこども園における子育て支援センターにより、保護者の幅広いニーズに対応した保育サービスを提供します。	
⑤放課後こども教室事業	5,166千円
鶯敷小学校、相生小学校及び桜谷小学校において、地域の方々の参画を得て、安全・安心な子どもの活動拠点を設けます。	
⑥児童手当の支給	138,448千円
児童手当や子育て世帯臨時特例給付金を支給します。	
⑦保育料の軽減	6,830千円
平成22年度から幼稚園、保育園における保育料を平均15%軽減していますが、今年度も同制度を継続し子育てのための経済支援を推進します。	
⑧遊具保守点検	1,132千円
来場者の多い虹の丘の老朽化した遊具を修繕し、子育てに役立てます。	
(6) 地域コミュニティによる支え合い	
①まちづくり協議会補助事業	10,200千円
町内各地区のまちづくり協議会の取り組みの支援や、コミュニティ助成事業により辺川地区や、延野地区にコミュニティ備品を整備し、地域におけるコミュニティ活動を促進します。	

⑥災害対策事業〔一部新規〕	10,969千円
発生が予想される、地震や豪雨災害等に対応するため、各支所等に備蓄倉庫を設置し、食料や給水容器を備蓄します。	
⑦町独自の常備消防組織設置〔新規〕	755,552千円
平成24年度には那賀町上流地区(上那賀、木沢、木頭)における救急体制充実のため、平谷地区に拠点となる「海部消防組合那賀町上流支署」を設置し、救急業務を開始しました。 平成26年度からは、消防本部を海部消防組合から独立させ、那賀町消防本部を設置します。また、その機能を十分に発揮させるため消防本部の増築工事を行い、消防指令車や工作車を配備するとともに、消防・救急デジタル無線の新設工事などを実施します。	
⑧役場庁舎等の耐震改修事業（相生庁舎改築工事〔新規〕）	336,527千円
災害時の拠点となる役場や支所の耐震改修事業を順次行っており、昨年度実施した実施設計に基づき、今年度は現相生庁舎を解体撤去した後、地元産の木材を使用した庁舎の新築に着手します。	
(5) 住宅・住環境の整備	
①公営住宅維持管理事業	37,017千円
町営住宅の維持修繕工事を行い、居住環境の改善・充実に努めます。	
②下ノ内地区住宅等移転対策事業	20,809千円
上那賀地区の下ノ内地区で行っている住宅等移転対策事業について、用地の購入などを行うなど、県のかさ上げ事業の加速化に向けて町として必要な事業の推進に努めます。	

3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり	
(1) 健康づくりの取り組み	
①総合健診等実施事業	14,721千円
各種検診を実施するとともに、健康教室や健康相談を充実し、町民の健康づくりに努めます。	
②乳児・母子健康診査事業	12,519千円
乳幼児や妊婦の健康保持のため、各種検診を行います。	
③各種予防接種実施事業	18,683千円
定期予防接種、インフルエンザ予防接種、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンに加え、大人の風しん予防接種事業などの接種を行い、疾病予防に備えます。	
④不妊治療費助成事業	300千円
少子化対策の一環として、不妊治療費の一部を助成します。	
(2) 保健・医療体制の充実	
①医師確保対策事業	700千円
医療体制を充実するために、本町に赴任した医師が働きやすい環境づくりと医師の確保対策に取り組みます。	
(3) 高齢者福祉の充実	
①外出支援サービス事業	1,500千円
高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、タクシーを利用した外出を支援します。	

5 すべての人の個性や創造性が生きづく教育文化のまちづくり	
(1) 学校環境の充実	
①山村留学支援事業	2,840千円
木頭北川地区での山村留学の取り組みを支援します。	
②小中学校校舎維持修繕事業	77,097千円
各小中学校の校舎等の修繕や空調設備工事を行い、安全で安心な教育環境を整えます。今年度は、平谷小学校の修繕、木頭中学校への空調設備の設置など実施します。	
③那賀高校支援事業【一部拡充】	13,337千円
那賀町唯一の高校である、県立那賀高校の教育の振興を図るため、教育振興に関する財政支援のほか、奨学金の支給、通学費の支援、町が建築した那賀菊寮の運営支援など、手厚い支援策により、那賀高校のレベルアップを目指します。	
④ふるさと学習(総合学習)事業	257千円
町内の小中学校が実施する、那賀町を知り、那賀町を愛する教育への支援を行います。	
⑤学校給食費の負担軽減【新規】	3,218千円
町内の小中学生保護者の負担を軽減するため、生徒1人につき学校給食費を月額450円軽減します。	
(2) 生涯学習の推進	
①社会教育充実事業	14,680千円
生涯にわたる学習を支援し、文化活動の活性化や地域リーダーの育成を図るため、町内各地区において、各種講座を開催するとともに、青年団、婦人会などの団体の活動を助成します。那賀文芸発行に対する支援も行います。 また、今年度は、広域連携コンサート(クラシックコンサート)を実施します。	
(3) 教育・体育・文化施設の充実及び活用	
①スポーツの振興	61,655千円
スポーツの振興を図るため、野外活動センター、各地区の体育館、グラウンドなどの町有体育施設の修繕などを行い、体育施設を適切に管理運営するとともに、各種スポーツ団体の活動を支援します。	
②文化財の保護及び文化活動団体支援事業	9,534千円
坂州農村舞台の修繕など各種文化財の保護を行うとともに、北川農村舞台、坂州農村舞台、川俣農村舞台、八面農村舞台、鎌瀬農村舞台及び拝宮農村舞台での人形浄瑠璃公演開催を支援、伝統芸能の保存・継承を促進するため、各種団体への支援を行います。	

6 地域の特性を活かしてさまざまな産業が育つまちづくり	
(1) 地域産業の振興	
①バイオマスタウン推進事業	51,492千円
林業の再生や雇用の拡大による町の活性化と地球温暖化対策を推進するため、バイオマスタウン構想の具体化に向けた各種事業を行うとともに、太陽光発電や小水力発電などの再生可能エネルギー利用拡大にも取り組みます。	
(2) 農林業の振興	
①鳥獣害対策事業	43,690千円
深刻化する農林産物の鳥獣害対策のため、従来のネット、電気柵等の設置に加えて大型檻の設置などの経費を助成するとともに、有害鳥獣駆除捕獲委託事業を行います。 また高齢化する駆除班の後継者づくりのため、狩猟免許取得や狩猟保険に対する助成などを行います。	

4 みんながつくる個性と活力があふれるまちづくり	
(1) 地域の特性を活かしたイベントの開催	
①各種イベント助成事業	7,670千円
「エキサイティングサマーインわじき」や「木頭杉一本乗り大会」等のイベントや各地区の夏祭りなどの開催を支援し、「にぎわう那賀町づくり」を促進します。	
(2) 交流の促進	
①移住交流支援センター事業	860千円
体験ツアーの開催や空き家情報の発信等を行い、都市からの移住や都市との交流を促進します。	
②特色ある学校づくり事業(中学生交流事業)	4,750千円
北海道釧路市(音別)との中学生同士の交流を行うなど、広い視野を持った青年の育成を図ります。	
③「もんてこい丹生谷」運営協議会事業	1,054千円
都市在住の那賀町出身者と町民との交流会を開催し、「ふるさと」とのふれあいを深めることにより町の後継者の確保と都市からの移住を促進します。	
④阿南・那賀・美波定住自立圏事業	7,659千円
平成23年3月24日に阿南市と締結した定住自立圏の形成に関する協定や、同じく阿南市と同協定を締結した美波町を合わせた3市町で策定した定住自立圏共生ビジョンに基づき次のような事業を行う。 ・広域観光PR事業 ・広域での企業の事業継続計画の策定 ・保育所の広域的な相互利用 ・図書館の蔵書の充実 ・火葬場使用料軽減事業など	
⑤地域おこし協力隊の設置および運営事業	22,575千円
平成25年度から開始した事業。都市部から募集して、町から任命した地域おこし協力隊員が、町と地域の間にとって、各地域の課題に対応したり、地域の活性化を図ります。	
⑥ふるさと会運営支援事業【新規】	3,602千円
近畿や関東で設立した、那賀町出身者でつくるふるさと会の運営を支援し、会員との交流を図り、那賀町の活性化を図ります。	
⑦縁むすびの会運営支援事業	500千円
那賀町の単身者の結婚への活動を支援する「縁むすびの会」に対して、財政支援のみならず、職員が事務局となり、その運営や活動を手助けします。同会は、すでに多くの実績を残しています。	
(3) 地域内外への情報発信	
①丹生谷応援団支援事業	625千円
徳島大学の協力を得て、町民の自主的な参加により、幅広い視点でまちの再生を目指す「徳島大学地域再生塾丹生谷応援団」の活動を支援します。	
②移動通信用鉄塔施設管理事業	11,290千円
緊急・災害時の連絡手段の拡充を図るとともに、地域間情報通信格差の是正を図るために整備した移動通信鉄塔を通じて、町内の移動通信機器の利用者が安定的な通信が保持できるよう町が所有する光伝送路の適切な管理を行います。	
③町勢要覧の増刷【一部拡充】	1,134千円
本町の合併10周年を記念して、昨年度から制作している町勢要覧を増刷し、多くの方に配布して、町のピーアールに努めます。	

⑩農業振興・活性化事業	11,477千円
農業生産物の種苗代等の補助や、特産物流対策費補助、主産地拡大対策費補助、その他各種農業団体等への活動費補助などを通じて農業の振興と活性化を図ります。 また、農業協同組合と協調して、農業従事者を増やすため、農業版ハローワーク事業である農作業支援事業に取り組みます。	
⑪新規就農総合支援事業青年就農給付金の交付	12,000千円
若手の新規就農者に対しての支援を行います。	
(3) 商工業の振興	
①商工会活動支援事業【一部新規】	15,350千円
商工会の運営、商工業者の経営改善資金の利子補給、街路灯維持費及びプレミアム商品券の発行事業などへの補助を通じて商工会の活動を支援、商工業の活性化を図ります。また、「ナカ宅配サービス」による買い物弱者対策や「ナカのコンシェルジュ事業」にも取り組みます。 今年は、県との共同事業による県のプレミアム商品券の発行に対しては一部負担を行い、地域商店等の販売促進に努めます。	
②地域雇用創出特別交付金事業【一部新規】	9,950千円
厳しい雇用情勢に対処するための緊急雇用創出事業や観光施設への観光情報提供・人材育成管理委託事業を実施し、観光案内や情報を発信したり観光施設の経営や管理に関する人材を育成します。	
(4) 観光・レクリエーションの振興	
①各種観光交流施設運営事業	38,892千円
交流人口や滞在客の増加を図るため、施設設備の整備・修繕を行うなど各種観光交流施設の運営を支援します。	
②「四国の右下」イベント事業	700千円
徳島県南部総合県民局と協調して南部の地域ブランドの確立や、交流人口の増加を図るため、全国井サミットの開催や登山道整備などに取り組みます。	
③観光協会運営支援事業	1,764千円
那賀町の観光の活性化を図るため、観光協会の運営を支援します。	

②中山間地域等直接支払交付金事業	57,774千円
中山間地域での条件不利農地の保全を図る取り組みを支援します。	
③林業振興・活性化事業【一部新規】	24,210千円
間伐材の搬出補助、林業従事者の人材育成、町産木材を利用した木造住宅建築補助、林業研究会等への活動補助等を通じ、林業振興と活性化を支援します。	
④農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	83,624千円
林業振興を図るため、作業道を整備します。	
⑤吉野ビジネスセンターの設計【新規】	3,240千円
将来、那賀町の林業振興の拠点と位置づけている吉野地区において、森林管理受託センターや林業事業体などが活用できるような施設として、吉野ビジネスセンターの基本設計を行います。	
⑥林道維持管理事業	108,840千円
林道の維持管理を行い、木材の搬出コストを削減し、林業振興と活性化を図ります。	
⑦道整備交付金事業	364,612千円
林業振興と活性化を図るため、林道の開設や改築工事を推進します。	
⑧森林管理受託センター準備室運営事業【継続】	3,542千円
平成24年度に設置した森林管理受託センター準備室の運営を図り、平成27年度の同センター発足を目指します。	
⑨森林管理受託センター準備室による林業施業実施【継続】	181,313千円
森林管理受託センターでは、林家からの委託により林業施業を実施し、林家への利益還元の上を目指しており、準備室においても、林業施業を実施することにより、事業実施上の課題等について検討し、同センターの円滑な運営を目指すこととしてます。	

平成24年度 那賀町 財務諸表報告(概要版)

平成18年8月の地方行革新指針による「新地方公会計制度」に基づく公会計の整備・推進を目的に、財務諸表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を、「総務省方式改訂モデル」により作成しましたので公表します。

普通会計財務分析

平成23年度と比較して、総資産額は4.5億円増加、負債については7億円減少し、純資産が11.5億円増加となりました。
資産総額に占める純資産の割合は0.7%増加し83.7%となり、将来世代の負担比率が減少しました。将来的な負担が減少したということで、バランスシート上では健全化が進んだといえます。

(単位:千円)

貸借対照表

Balance Sheet

那賀町がどれほどの資産を所有し、債務を負っているかのバランスを明らかにしたものです。那賀町の資産と、その資産をどのような財源(負債や純資産)で賄ってきたかが分かります。左側にこれまで取得した土地や建物・預金などの「資産」を、右側にその資産を形成したことによる将来世代の負担である「負債」と、これまでの世代が既に負担したものの「純資産」を表しています。

資産の部		資産の部	
【公共資産】	89,096,045	【固定負債】	14,807,883
【投資等】	5,123,541	地方債	13,047,581
投資及び出資金	66,015	退職手当引当金	1,760,302
基金等	4,693,315	…将来の退職給付支払の見込み額	
その他	364,211	その他	0
【流動資産】	7,279,755	【流動負債】	1,709,975
現金・預金	7,266,519	翌年度償還予定地方債	1,608,438
(うち歳計現金)	1,346,578	…一年以内に償還期限の到来する地方債	
未収金	13,236	賞与引当金	101,537
		…将来支払う事になるであろう賞与	
		その他	0
		負債合計	16,517,858
		純資産の部	
		純資産合計	84,981,483
資産合計	101,499,341	負債及び純資産合計	101,499,341